



Prof.
Ichikawa Daisuke
市川 大輔 教授

イベルメクチンプロジェクト:
新作用抗癌剤

新規抗がん剤プロジェクト

近年、高度進行癌に対する拡大手術の効果が否定され、外科治療の低侵襲化と集学的治療の重要性に注目が集まっています。また、薬物療法においては、治療薬に対する耐性の問題も依然として大きな課題です。こうした難治性癌への新たな治療法開発の一環として、私たちは山梨大学大村記念微生物資源研究フロウティラに参加し、イベルメクチン誘導体の研究に取り組んでいます。イベルメクチンは、近年の研究で、様々な癌細胞株において細胞増殖や血管新生の阻害による転移の抑制などの抗腫瘍効果が示され、多剤耐性株に対する効果も報告されています。また、免疫系への作用の可能性も報告され、免疫チェックポイント阻害剤との併用による相乗的な抗腫瘍効果も確認されています。今回、北里大学ならびに山梨大学の各研究機関の技術に加えて、我々の臨床現場の膨大な知識と経験を結集することで、新たな治療戦略の確立が期待されます。本プロジェクトを通じて、難治性の乳がん、食道がん、胃がん、膵がんに対する新たな治療戦略の確立と、次世代の医療創出に貢献してまいります。